

2026 年 10 月 19 日

各 位

SBS 東芝ロジスティクス株式会社

「グローバルサプライチェーン最適化」紹介ページを公開 ーメーカー物流の知見と実行力で、調達・生産・販売をつなぐー

SBS 東芝ロジスティクス株式会社（社長：金澤寧、本社：東京都新宿区）は、2026 年 10 月 19 日、当社ホームページにて「グローバルサプライチェーン最適化」の紹介ページを公開しましたので、お知らせいたします。



本ページでは、サプライチェーンの複雑化によって生じる課題を整理するとともに、当社が提供する「現状把握」「全体設計」「現場への実装」「運用後の改善」の各支援プロセスを紹介しています。また、物流拠点の再編、海外調達から国内販売までの物流体制構築、包装・積載方法の見直し、物流情報基盤の整備など、サプライチェーン最適化の実績についても掲載しています。

近年、生産拠点の海外シフトや調達先の多様化、市場や販売チャネルの変化などを背景に、企業のサプライチェーンは複雑さを増しています。こうした環境下では、輸送や保管などの各工程を個別に捉えるのではなく、調達から生産、販売までのモノと情報の流れを一体で把握し、全体最適の視点から物流体制を見直すことが重要です。

SBS 東芝ロジスティクスは、東芝グループで培ったメーカー物流の知見と、国内外の物流現場で積み重ねてきた実行力を生かし、物流データと現場の実態に基づいて課題を整理します。拠点、輸送、包装、通関、情報連携などを組み合わせ、製品特性や生産・納品条件、現場の制約も踏まえた物流体制の設計から実行、運用後の改善まで一貫して支援することで、お客様の競争力向上と持続的な成長に貢献してまいります。

調達・生産・販売を、物流でひとつに。

メーカー物流の知見と実行力で、サプライチェーン全体最適化を支援

生産拠点の海外シフト、調達先の多様化、市場や販売チャネルの変化により、企業のサプライチェーンは複雑さを増しています。こうした変化に対応するには、輸送や保管など一部の工程だけではなく、調達から生産、販売までのモノと情報の流れを一つの仕組みとして見直すことが重要です。

例えば、輸送費を抑えるための施策が在庫やリードタイムを増やすことがあります。反対に、納期を優先した運用が緊急輸送や現場負荷の増加につながることもあります。サプライチェーンを構成する工程は相互に影響するため、一つの指標だけでは最適な答えを導けません。



詳細につきましては、当社ホームページをご覧ください。

U R L : [グローバルサプライチェーン最適化 | SBS 東芝ロジスティクス](#)

U R L : [国際一貫物流サービス | SBS 東芝ロジスティクス](#)

以 上

< SBS 東芝ロジスティクス株式会社 概要 >

本社住所：東京都新宿区西新宿 8-17-1 住友不動産新宿グランドタワー25 階

代 表 者：代表取締役社長 金澤 寧

設 立：1974 年 10 月 1 日

親 会 社：SBS ホールディングス株式会社（持株比率 66.6%）

資 本 金：21 億 28 百万円

売 上 高：1,238 億円（2025 年 12 月期、連結）

従業員数：2,855 名（2025 年 12 月末現在、連結）

関連会社：国内 SBS ロジスター(株)、丸嘉運輸倉庫（株）

海外 中国、アジア、米国、欧州各地域に 14 社

事業内容：倉庫業、貨物利用運送事業、機械器具設置工事業、とび・土工工事業、通関業

航空運送代理店業、物流コンサルティング、不動産賃貸及び管理業 他

U R L : <https://www.sbs-toshibalogistics.co.jp/>

■本件に関するお問い合わせ先

SBS 東芝ロジスティクス株式会社 人事総務部

TEL：03-6772-8201（代表）／URL：<https://www.webcoms.jp/sbstlog/contact/>

※ 当資料に掲載されている情報は、発表日現在の情報です。その後予告なしに変更されることがございますので、あらかじめご了承ください。